上毛志

緑野郡

和書門				
類	號	函	架	冊
	一六五一九	七三	一一	一一

内閣文庫
和
一六五一九 號
一一 冊
毛四 函
一九 架

内閣文庫		
番號	和 16519	
冊數	11 (6)	
函號	174	220

Kodak Gray Scale
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
x-rite colorchecker
MSCCPPCC1109
MSCCPPPE1109
国立公文書館
National Archives of Japan

上野国志

緑埜郡 埜武野 埜ハ古文野 和名鈔云緑野美止乃上文云縣名 林原八也之波良 小野乎乃 針茂 高加
足佐味 大前オホサキ 尾張 保美 土師波尓
之浮囚 山高

今按ズルニ甘羅郡ニ小野村アリ當郡ト隔

淺草文庫

旦ツ山名 和名抄ニハ多胡ニ属ス今當郡ニ隷ツ小野
村ハ山名ノ山ツヽキニシ而西隔レリ然トモ今ノ小野ニハ
アラジ保美ハ今猶村名ニ遺リ浄法寺村モ保

美ノ中ニ

日本紀安閑天皇二年五月甲寅置上毛野国

緑野ミヤケ屯倉

當郡ハ多高山庄ト云 日野金井村高山氏カ居ル
所ナリ 高山ハ秩父ノ族ナリ
秩父十郎武綱カ子權守重綱カ第三ノ子三郎重遠始
テ封ヲ受テ高山氏ヲ称スソレヨリ子孫相續ス藤岡

モ高山庄ナリ 神田大塚モ長樂寺ノ舊書附状ニ
高山庄トアリ

今村落伍十捌村租入二萬捌仟四百六十四
石一斗六升九合

（苗）笛木村 落合村 此二村新町ノ驛ナリ

立石村

中山村

森新田

中村

森村

篠塚村此地新田義貞ノ家臣竹篠塚伊賀
守カ在所ナリト云村ノ中ニ伊賀明神ト
テ伊賀守ヲ祀リシ社アリ小社ナリ南向
畑ノ中ニアリ
中ハ伊賀明神左ハ赤城右ハ稲荷
ヲ同社ニ合セ祀ル
社前ニ石アリ高
四
尺九寸五分斗長七尺八寸　伊賀守カ力様ニ（チカラダメシ）
厚二尺八寸斗リ
弄セシ石之ト云傳フ伊賀守カ怪力大平
記ニモ記スル処ニ拠レハ左モアルヘシ

阿久津村

木部村

山名村和名抄等ノ古書ニ見ヘル多胡郡ニ属
ス
和名抄ニ山字ニ作ル續日本
紀ニ山等ニ作ル皆同
新田大炊助義重ノ

男山名伊豆守義範ノ居所ソレヨリ重国小太郎重村二郎蔵人義長孫次郎義俊彦二郎政氏小二郎世ノ名ハ義氏奕葉ココニ住ス政氏ノ男伊豆守時氏ニ至リ将軍尊氏ニ仕エテ大名トシ山名氏盛大繁栄スコレヨリシテ後本国ニ皈住セズ

岡郷 此村武田月頼ト北條氏直ノ戦場也古塚犹在リ

栗須村 上中下三村アリ鎌倉大草紙ニ上杉管領顕定憲房定政為長尾景春武州五十子ノ陣ヲ襲ハレテ上野エ打越催大勢景春ヲ可退治トテハ相根川ヲ渡リ郡須庄エ引退ト云エル郡須ノ庄ハ此ノ栗須ニヤト云エ共五十子ヨリ利根川ヲ渡ルト云エハ栗須ニハ非ルヘシ又此村ノ原ニ石ヲ畳テ窟トスル者数十アリ大ナルハ三四十人ヲ容ル一ニ

大塚村 上中下アリ上大塚村ニ井ナシ鎮守飯霊明神燻玉フト云フ年魚川ノ水ヲ汲揚テ用フ

戸塚村

藤岡町 ヨキ町ナリ坊街曲尺（カネノテ）ノ如シ東西ナル者ヲ動堂ト云南北ナル者ヲ笛木ト云古者城アリシ所之

小林村

根岸村

肥上村

本郷村

牛田村

川除村

平田村

保美村

浄法寺村　前橋風土記ニコノ村竹笋ヲ出ス毎年献ストアリ
テ村ヲ分郷シ八塩村アリ先年大樹ノ牡丹二本
アリ囲一尺五寸アリ前橋侯ノ領地ナリシ時一本ハ前橋侯
エ取リ一本ハ御城エ献上セシナリ其地牡丹ニ宜シキヤ其
後モ大ナル牡丹不絶アリ所ハ村ノ南渡瀬村ノ西之又
此村ニ長者屋敷ノ跡アリ石垣残レリ別ニ長者畑ト云アリ
来歴不詳

三木村

甚田村　元ハ神田ニ作コノ村ニ屈呂輪明神アリ神田ト名ル
是ハ所以アルヘシコノ村塚多シ畑ト半ス

東平井村

矢場村

鮎川村

本動（ユルキ）堂　藤岡ノ一行寺ヲ動堂ト云モト此所ニアリ
委一行寺ノ下ニ記

上落合村　下落合ハ新町ノ駅ナリ

三木村

白岩村

緑野村

西平井村　コノ上村上杉氏ノ城跡ナリ

笹久留輪村　平井ノ故城ト金山ノ間ナリ

金井村

日野金井村

中蔵村

大平村

桐山村

西矢場村

澤口村
白塩村
日向村
雲尾村
大澤村
金丸村
下三波川村
鬼石村
大奈良村
月吉村
根小谷村

年魚(アユ)川　日野山中ヨリ出（御荷鉾山ヲ日野山中ト云郡ロ別ナレ氏日野ヨリ）往来ス平井故城ノ東ヲ経テ山谷村ノ南ニシテ加婦良川ニ合ス此川鮎魚ヲ産ス味美ナリ因テ名焉

神社

五行神社　當郡ニ五行ノ神アリ神流川ノ名コレニ因ルト云根岸村ニ風天社アリ本郷村ニ土主(トシユ)明神アリ小濱村ニ小松社アリ木神ナリ戸塚村ニ水宮アリ但火神ノ社ナシ東平井ニ雷電祠アリコレ火神ナル歟（風天ハ葢シ金ノ神ナルヘシ）

瓶酒（ヘイシ）明神　牛田村ニアリ

御巡部（ミツルベ）明神　矢場村ニアリ祭神素盞雄尊之

八幡宮　山名村ニアリ山名氏ノ鎮守之　山名伊豆守ノ勧請ナリ　神主高井和泉

寺院

浄法寺　浄法寺ニアリ村ハ寺ニ因テ名ツ蓋シ保美村ノ内ニ天台宗ニ廣巌山般若浄土院ト号ス古者緑野寺ト云

聖武天皇勅願道忠禅師開基

其後傳教大師再建

傳教大師六千部塔東州三所　緑野寺　下野大慈寺

日光
中国二所叡山東西塔西国一所見釈書

法華長講云傳教大師之著述東土上野国般若浄土院
信心弟子等教興及道應助写一切経
續日本後紀云永和元年五月七丑令相摸
上総下総常陸上野下野等國司勠アワセ力寫

取一切経一部来年九月以前奉進其経
本ハ在上野国緑野郡緑野寺
或云此寺権興聖徳太子境内太子御塔
アリ五輪塔ニ其石甚タ古シ
昔者本堂弥陀三尊長一丈餘戒壇院本尊夾侍梵釈二天並皆与叡山中堂同
大師所作千午院本尊千手観音寺後ノ仏午山領或ハ牛尾ト云山ノ上ナリコレヨリ飛来ノ像ナ
リ秘ノ人拝見ルヿヲ得スソノ餘文殊普賢迦葉阿難木像

並ニ行基ノ作山王社尊像ハ大師ノ作丹生社祇園廿野八幡
稲荷等社何レモ精麗ノ書畫シケルカ僧徒
强大ニナリテ弓箭ヲ帯シ関東ノ公方管領
取合ノ時ハ公方ニナリテ管領ヨリ攻ラレ管領
上杉憲政北傳ノ戦ニハ上杉ニ与力シテ天文二十一年
二月十二日高山氏攻ラレテ灰燼トナリテ子遺
ナシ當時ノ住持舜祐カ紀ニ詳ニ寺ノ盛衰ヲ紀シ置ケリ

當寺ハ往古ハ勅命ヲ蒙リテ住持セシトニ
中葉有頼舜列テ仁王會舜舐書帝勅
令書龍山雲三字筆勢如騰地肥瘦長
短結搆合度未書竟陰雲倏起驟雨
大澍帝賞賜如意輪地藏二像以為本
堂左右両堂本尊當寺ノ舊説
今僅ニ所存ハ戒壇堂ニ開山堂傳教大師相輪

樘高一丈三四尺斗リ コレ古昔ノ物ニ非ス近世改メ作リ
モノニテ近隣ノ村人ノ施主夥シク彫付テアリ
石護摩壇 大師ノ護摩ヲ修セシ処ナリ壇石方四尺斗リ 奥ニ立石ニ梵書ノ唅鑁ノ字彫テアリ
山王社諏訪社 八功徳池中ニ洲アリ辨
天愛宕ノ二社アリ 辨才天ノ像ノミ天文ノ兵燹ニ免レタリト舜祐ノ記ニ見タリ
獨鈷水 門前ニアリ方六尺ハカリ大師独鈷
ヲ以テ穿ツ処也 舜祐ノ記ニ此井再ヒ浚ルコヲ禁ストモ云リ

齋田参付石 天文ノ乱ニ寺地悉ク小田原エ没収セラレシニ住持舜祐数々嘆訴シテ弘治二年終
ニ許ヲ受テ寺當寺ヲ再建ス
大神君ノ御世ニ至リテ新ニ齋田ヲ賜フテ一方ノ教刹
トナル

永源寺 浄法寺村ニアリコレヲ御山獄ト云
曹洞宗ニテ其始祖姓藤名正伊號一州周防
熊毛郡宇佐木郷人也母夢白王飛入腋下
既而有娠及生白炎照室迨于其長到周

永源開山賢室
自超開一州
當寺一州ヲ勸請開山トス
二世宗恕禅芳
三世幼室伊蓬
四世

去渇牧翁

防州般若寺為僧臨鑑無影人皆為不祥自
笑曰通身無影矣不學而遊行到于洛陽
謁日峯和尚以拔碧容集百則曉得如
素所知去謁牧翁和尚於円通翁一見顧
儜僧曰新到禅客非凡流也師每與衆論
丈室七宗極則處皆能徹其淵源於是
道價日增方来雲衲莫敢攖其鋒入越

見希明和尚明問渾金璞玉堪作何明曰
至宝不彫琢拂袖便行随月江和尚于小山
多太川寺十有餘年密契心印親受信衣
不幾而國破寺廢矣太田道真欲擇地於相
州而令一州為主以法兄恭叟来主寺而辭
去長尾左衛門尉景忠命嫡子景信創梵刹
欲令州為主州人讓於月江此則雙林寺

是也既而雙林火景信再造邀州州居烏
三年沼田長忠請州於玉泉寺後應侏田
之招主子石井三鈷寺徒衆恒六百余人
後以老皈雙林長享元年十一月初四日將
唱滅集衆囑後事已遠然而寂门廿七
十二坐五十九夏頭上発瘡而終當寺
号大龍山相傳始在御嶽御嶽在武州金鑽与淨法寺隔

神流川至九代住持見尊時御嶽城主阿保吉兼移寺
斯地或謂文明十二年始建寺於斯地雙林
寺末寺之甲刹也
齋田十石
光德寺　藤岡村ニアリ曹洞宗之
開山尾州正眼寺六世鷹林集和尚開基芦
田右衛门大夫延德元年ニ建ツ本ハ信州芦

田ニアリト云芦田氏封ヲ藤岡ニ移シテ寺亦

従テコヽニ徙ル右市剛カ紀ニ見ヘタリ芦田氏ノ事ハ年代不審ノ古文アリコレハ寺ノ記ニヨル

齋田十五石

仙蔵寺　西平井村ニアリ真言宗新義

真穀山ト号ス

上杉氏ノ取立ノ寺ナリ

齋田二十石

常光寺　西平井村ニアリ曹洞宗曹洞宗

上杉氏ノ開基ナリ　寺紀紛失シテ不詳

齋田十石

文殊院　西平井村ニアリ真言宗新義ニシテ
修験ノ本寺ナリ常願山ト号ス上杉氏
城趾本丸ニアリ東ハ年魚川懸崖高峻
ナリ
齋田十石
宗永寺　上落合村ニアリ曹洞宗

石室派ノ寺小幡室積寺ノ末寺開基當（今迄十三世開基中）
尾源大夫宗永ト云者法名七與院盛巖
宗永居士ト云蓋ニ斯地ノ郷士ナリ七與
山ト称ス寺ノ西北ニ七與ノ松ト云嘉樹
アリ地ヨリ四五尺斗リ上ニテ七本ニ分レ蕃
衍スルヿ東西十二間ハカリ南北十間ハカリ

金剛寺　三波河村ニアリ真言宗新義之

齋田五石

般若寺　白石村ニアリ真言宗新義之

一齋田十三石
新泉寺　白石村ニアリ真言新義東平井
圓満寺ノ末寺ナリ
齋田十五石五斗
一廣澤寺ニ矢場村ニアリ曹洞宗也
一齋田拾一石
泉通寺　森村ニアリ禅宗
一齋田十五石

心洞寺　木部村ニアリ

齋田十石五斗

安樂寺　木部村ニアリ真言宗之

齋田十石

高源寺　東平井村ニアリ曹洞宗之

高山遠江守満重カ建ル所之満重山ト

一号ス

齋田十石

天養寺　保美村ニアリ永源寺ノ末寺洞下之

長井右衛門尉信實カ立ル寺ニ古墳アリ

一行寺 藤岡村ニアリ浄土宗之

寺記云本堂聖観世音長二尺五寸聖徳太子ノ御作元大和国十市郡譯田(ヲサ)ニ安置シ奉ル中葉(ナカニヤ)木曽中三權頭兼遠厚クコレヲ信仰シ家産ニ易テ迎ヘ奉リ平生尊崇シ奉

後ニ此像ニ祈誓シテ女子友繪ヲ生ス友繪勇カアリ源義仲ニ仕ヘテ一方ノ将帥ヲ承玉ハル戦ニ臨ヿ數度未タ嘗テ傷ツクヿナシ此レ此像ヲ信スル故ニ友繪曽兜ヲ脱シテ御趾捧テ軍袍ヲ取テ着セ奉ル其兜ト軍袍(ハヲリ)今猶傳テ寺ニ在リ其後友繪世ノ迯遭ニ遭遇ス剃髪シテ木曽山中ニ幽居シ九十二歳ニテ往生

ノ夫ヨリ程ヲ経テ仁治元年四月武蔵国津戸
三郎為守入道尊願師行脚ノ時木曽郷
戸ノ駅ニ投宿セシニ夢ニ異相ノ人牛ニ木敷蓮
ヲ持チ身ニ陣袍ヲ被脚ニ兜ヲ踏テ法師ニ
告云汝今我ヲ携エテ関東ニ往ケ有縁ノ
地ニ到ラハ必ス重タキナリテ示サント宣フ覚テ後
此事ヲ上人ニ語リケレハ和語坂ノ観音トナリ

答フ即チコレヲ請獲テ東国ニ赴クニ上野国緑
野郡サケ塚ノ原ニ至リテ重クナラセ玉フ故ニ
其地ニ就テ草堂ヲ建テ安置シ奉ル本動堂
コレ也　仍テ為守入道ヲ開山第一
祖トス為守建久ニ八年三月廿二日法然上人ノ
弟子ト之テ弥陀ノ宝号ヲ書シ授ケ玉フ
今寺ノ宝物ニアリ弐年旱魃セシニ四隣ノ

農夫数多堂ヲ開繞シテ仏名ヲ唱ヘ雨ヲ祈
リシ堂大ニ震動シテ甘雨大ニ澍シヨリ世人動キ
堂ト呼フ又後ニ幡随上人再ヒ法筵ヲ開キ玉
フ天正十九年藤岡ノ城主芦田修理太夫幸
正深ク上人ニ皈依シテ寺ヲ今ノ地ニ移ス藤
岡山尊願院ト号ス仍テ今モ寺ノ東ヲ動
堂ト呼ヒ初ノ堂ノ在シ所ヲ本動堂ト云元

禄二年二月前橋侯高挙朝臣免田ヲ賜
フ此地元ハ前橋ニ隷ス

久命寺西平井村ニアリ小庵ナリ
上杉氏ノ寺ナリ霊牌アリ顔龍院殿昇遷政公
コレ憲政ノ法名ナリ凡法号ハ寺ニヨリテ別ス武州児
玉郡當波田ノ長泉寺ニ上杉烈祖ノ牌アリ龍洞院殿大盛
憲公トアリ

光臺寺ハ山名村ニアリ時宗之此境内煙草ノ名産之

道奥准后ノ廻国雑記ニ大蔵坊ト云山伏ノ所ニ十日斗リ逗留同国杉本ト云山伏ノ所ニウツリ玉フ事見エタリ

藤岡町ノ南本郷村ニ杉本院ト云山伏アリ藤岡ノ櫻本坊ノ末寺之是ハ今櫻本坊ハ本ノ杉本ナルベシ二タ寺ニ分リテ今ハカリ名寺ヲ杉本ト云本ノ寺ヲ櫻本ト改ニシナルベシト津久田ノ仙教院云エリ

道奥准后記ニ上野国大蔵坊トイフル山伏ノ坊ニ十日アマリ立リテ同国
杉下ト云山伏ノ所ニウツリケル道ニ馬川トイフル川ニ鵜鳥ナトアヒ
マジハリテ侍ルヲ見テ文作諸鵜トリモ得ス魚ノ心ヲ恥モセデ子シケルカラス川カナ　大刀松トイフル
所ヲ過侍ルトテ　名ノミシテ宮木ニモルヽ大刀松ヒクヘキニ年ヤヘヌラシ　杉本ニ十日斗リ逗
留シ侍リキ此坊ヲ立テ宮ノ市セミモノ原シミホ川ニテイルイタ
ツタ野アヒ川カミ長川ナトサマ〱ノ名所ヲ行ニテオシマノ原ト云
フル所ニ休ミテ武蔵野ニテ残月ヲ詠メ岡部ノ原ト云所ハ彼

六弥太トイヒシモノヽ旧路ナリ
考大蔵坊ハ群馬郡国分村ニアリ御朱印十三石
鳥川高崎板鼻ノ間大刀松緑埜郡落合村ニアリ
七輿ノ松ト云　板本前ニ記ス　宮ノ市ハ一宮之
セミモノ原ハ富岡ノ裏ニアリ瀬下村ト云ミホ川ハ吉井
藤岡ノ間ノ少シノ流ナリ　白石イタツタ野藍川ハ藤
岡ノ道筋アヒ川年魚川ト書　カミ長川ハ今ノ神流川

今新町驛ノ東ナリ此ヨリ東武蔵国ナリ已上和田山極楽院ノ説ナリ
オシマノ原ハ今ノ本庄驛ノ西尾島村武蔵野ト云ハ總
テ武蔵国ナレハナリ岡部ノ原ハ今ノ岡部村ナリ

故城

平井故城　山内ノ上杉管領ノ居城ナリ今ノ
西平井村澤テ城跡ニシテ隍塹猶残レリ
本丸ハ文殊院ノ跡ナリ東ニ年魚川アリテ
懸崖壁立河水ヲ堰留テ水ヲ湛シ跡三
所アリ別ニ平井西南ニ金山ト云大山アリ此
ハ是要害ノ地ナリ本丸二三ノ丸段ニアリ

本城ノ續ニテ笹曲輪ト云所ヨリ登ル金山ノ
東ハ日野金井村ナリ金山ハ金井ニ居ス
鎌倉大草紙云尊氏公ノ御母二位殿ノ御兄上
杉兵庫入道憲房京都四條合戦ノ時将軍
ノ命ニ替リ討死アリ憲房ノ二男民部大輔
憲顕ハ尊氏公ト錦小路殿御兄弟不和ノ時
錦小路殿味方ニ参シ故将軍御憎ミ有ケ

レ共案者第一ノ人ニテ関東ノ堅メ此人ニ非
ハ叶マシト思召ケレハ被召出ケリ其基氏公
ハ御乳母ニテ幼ヨリ抱キ生育被申ケル間
旁可然由ニテ越後安房両州ヲ被下鎌倉
ノ御後見ニテ山内殿ノ先祖是也此子孫代
々管領タリト 案ニ憲顕カ代ニ上野ヲミ賜シナリ又
山内上杉ト称スルコトハ憲顕ノ男安房
守憲方鎌倉ノ山内ニ居住シテヨリ家号トス
平井城ハ憲顕ヨリ居住セシナルヘシ

憲顕　憲方安房守　憲定　憲基　憲實　憲忠　顕
定顕定子ナクシテ古河成氏ノ二男四郎義綱ヲ養子トシ
メ民部大輔顕實ト改名ス武州鉢形ノ城ニ居
ラシム後ニ厲ヲ患エテ卒ス依之顕定カ父右京亮
憲忠カ弟周晟蔵主カ在俗ノ時ノ子五郎憲
房ヲ嗣トシ
兵庫頭ト称　憲房大永五年四月十六日卒　憲政相續
シテコヽニ居ス天文二十年三月憲政北條氏康ト
神流河ニ戦ヒテ大ニ敗ラレ同年秋越後
ニ奔リテ長尾景虎ヲ憑ミ家号ト重
器ヲ譲與ス同八月氏康平井ヲ抜テ北條
三郎長綱ヲ城代トス同二十一年謙信関左
エ越山シテ平井ヲ取返シテ番兵ヲ置キ是
ヨリ数関東ヘ越山シテシ平井ニ屯ス金山ノ西ニ奨ナ
峯アリ喜平次カ城ト云
是長尾景勝ノ陣セシ処之永禄二年十月謙
信近衛殿下ヲ奉シテ関東征伐ノ時ニ
平井地利宜カラサルヲ以テ厩橋ヲ攻取

リ平井城ヲ廢シテ厩橋ニ居テ指揮ス

日野金井故城　金井ノ金山ノ東南ニ要害山ト云アリ　コレ高山氏ノ居ル所ナリ高山氏ハ頼朝ヨリ以前日野ニ居住ス　天文天正ノ比高山遠江守満重始ハ上杉ニ属シ後甲州ニ従ヒ又小田原ニ皈シテ滅ヒ其裔民家トナリテ今猶遺レリ

藤岡故城　上杉氏ノ臣芦田新六幸貫コヽニ居ル　芦田ハモト信州ノ地名ナリ芦田氏モ信州ヨリコヽニ従住ス　上杉没落　或云芦田ハ上杉定正ノ家人ト　ノ後幸貫カ子下總守幸成武田信義ニ従ヒ遠州ニ役ニ移住シ後ニ名倉ノ城ニ主タリ藤岡ハ北條カ持ト成テ大

鎌倉物語ニ永享十一年持氏生害ス時上州藤岡ノ城主有田大舎人少属定景カ謀ヲ以テ永寿王殿ヲ直カンス其後成氏鎌倉ニ皈座ノ時ヨリ義ヲ励シ頃年所々ヲ伐取リ三倍ノ領主トニ
文明元年己丑七月六日六十五歳ニテ卒ス嫡男豊後丞定基武州八幡山雉子岡移氏ヲ夏目ト改ム

和兵部少輔晴親ココニ居ス又内藤大和守
秋宣ココニ居リテ武州筑井城ヲ兼帯ス
天正十八年城ヲ開テ降ル芦田幸成カ
子右衛門尉幸平ハ勝頼滅亡ノ後召出サ
レ松平姓ヲ賜リ下総守ニ任セラレ小田原ノ役
ニ藤沢大谷帯カ左衛門喜俊ヲ攻オトシテ
功アリ其子新六郎幸正後右衛門大夫ニ任セル天

文安二年乙丑春藤岡ノ領主有田大舎人属定景永寿王丸成氏ヲ鎌倉皈シ奉ラセ度事ヲ関東諸国士廻文ヲ以申達シ翌年古河ノ城ヲ築テ入マイラスト北越軍談ニ見エタリ有田赤松ノ庶流ニ

正十八年信州小諸ヨリ三萬石ニテ舊領藤岡ヲ安堵ス慶長
天正十九年信州岩村田ノ郷民芦田氏ヲ慕テ藤岡ニ徙テ村ヲナス神主支祭礼モ岩村田ニ同ス
五年ノ春幸正小栗三助ト圍碁ノ諍論ヨリ
テ三助ヲ刺殺シ逃亡シテ後越前ニアリテ加藤
宗月ト号ストニフ　城
廢ス
按ニ信州ノ芦田ハ六ハ大井越前守持光カ家臣ナリ
永享十三年鎌倉ノ持氏ノ二子結城ニ兵ヲ揚シ時
持光家臣芦田清野ヲシテ成氏ノイマタ童子ニテ永寿王
トニシ時送ラセテ結城ニ遣セシト大草紙ニ見エタリ。

木部舊壘　木部氏ハ武蔵ノ猪俣黨ニ入天
正ノ末木部宮内少輔貞朝カ代ニ滅　甲陽軍鑑ニ

木部兵部トアリ

三山舊塁浄法寺村ニアリ元ハ長井豊前守正實（正實駿河守忠實子也）カ居城ナリ長井ハ上杉ノ家臣ニシテ永禄十三年四月信玄西上州逗留ノ間小幡三河ト同ク信玄ニ属シテ申ス武蔵内忍（ヲシ）深谷（フカヤ）領ノ際ハ千貫ノ地ヲ加勢ヲ申請伐取テ献スヘシト信玄便ハ小幡尾張等七頭ヲシテ助ケシムト十日斗ノ内其地ヲ伐取ルニ依テ其地三千貫ヲ長井ニ賜リ五千貫ヲ小幡ニ賜テ所替シテ武州ノ先鋒タラシム（正實没後其子右衛門尉信實武田ニ従シカ）其後勝頼滅亡シテ上州悉ク北條ニ従ヒシニ長井ハ数年北條ニ敵待セシ故ニ上杉ニ皈シテ越後ニ走リ天正十八年小田原攻ノ時上杉ノ先陣藤田信吉カ相備タリシカ上州ノ地下人ヲ催シテ藤田ト謀畧シ多比良豊後カ多比良ノ城ヲ

襲ヒセシニ城中僅五百人斗ナレハ降ヲ乞フ三山ハ先

年坊崩ニテケレハ藤田縄張シ足軽築キ長井ヲ

復住セシム平均ノ後信吉ヨリ

神君ニ申シ達シ御家人ニ列シ三山ニ安堵右衛門尉始ハ彦

六ト称シ後右馬允ト号ス元和元年ニ卒ス母ハ岡部石見守

カ女之○ 信實ハ

長井齋藤岡當實盛カ裔之ト又太平記武藏野合

戰ニ浄法寺右近太夫アリ蓋シ丹黨ノ人ナルヘシ

○慶長ノ初幕下ノ諸士皆妻子ヲ武城ニ移住セシトキ教命有シニ信實速ニ命

合ヲ請奉セサル罪ニ依テ播州エ配セラル慶長十九年五月十四日配所エ死信實晩年

右馬允ニ任セラレ武州ノ金鑽三嶽ト云ト三山両墨持カ配流ノ時ニ墨廃ス

山名上古碑 山名村ノツヽキ観音堂ノ西ニアリ

銘曰 銘文磨滅シテ不甚明

辛巳歳集 此間八字斗不分明 月三日記

佐野三家定倭冗命孫造呉刀自此

新川臣兒斯足琢是居録太呉臣

長利僧母為記定文也放光寺僧

同所庵室ニ石ニ来迎ノ彌陀ヲ彫リテ建治四
正月日ト云字アリ是亦古物ニ

金井澤古碑　根小谷村ノ金井沢ト云所ニアリ

銘曰

上野国群馬郡下知具郷高田里
三家子孫為七世父母現在父母
現在侍家刀自駿刀結目駿乃母人兒君
佛刀目孫物部君千足次駿刀目次奥奥
刀目合六口又知識所結又三家君人
次知万呂銀驌礒ヤ君身麻呂合三言
如是知識結而天地誓願仕奉
石文

神亀三年丙寅二月廿九日

右二碑未詳来由年代久遠文字磨滅且文字不成句讀
況無他文可参考則無如之何但群馬郡有佐野郷上古

蓋有以佐野為姓者後碑所謂三家亦或是後碑者
定是念佛或誦經之願文也知識謂勧進所結縁者也
伊豫風土記所載聖徳太子温泉碑不成句讀今現在
下野国那須国造碑銘不可讀得者三之一擬此見之上
古記文往々有如斯者

日本政府図書
昌平坂学問所

国立公文書館
National Archives of Japan